

Société
Franco-Japonaise
de Philosophie

日仏哲学会

会報 75 号 2015 年 2 月 9 日

☆ 2015 年春季研究大会のプログラムが下記のとおり決定いたしました。

(プログラムは HP にも掲載いたします。)

日時：2015 年 3 月 21 日 (土) 9 時 40 分 - 17 時 50 分

会場：大阪大学豊中キャンパス・全学教育講義 C 棟 (詳しくは別紙マップを参照)

- ・一般研究発表： A 会場 C403 教室
B 会場 C404 教室
C 会場 C405 教室
D 会場 C408 教室
- ・講演会 C402 教室
- ・ワークショップ C402 教室
- ・理事会・編集委員会 C409 教室 (11 時 40 分 - 12 時 40 分)
- ・会員控え室 C407 教室

懇親会

日時：18 時 15 分 - 20 時 00 分

場所：学内での立食を予定しています。

会費：一般 5000 円 / 学生 3000 円

*懇親会への参加が確定されている方はメールにて事務局までご連絡ください。

タイムスケジュール

1. 一般研究発表

A 会場 (C403 教室) 司会：小泉義之②③、千葉雅也④⑤

① _____

② 10 時 20 分 - 11 時 00 分

平田公威：把握的表象から動詞的表象へー『意味の論理学』における表象概念の射程についてー

③ 11 時 00 分 - 11 時 40 分

鹿野祐嗣：ドゥルーズの『意味の論理学』におけるエディプス・コンプレックスをめぐって

昼食 (11 時 40 分 - 12 時 40 分)

④ 12 時 40 分 - 13 時 20 分

小谷弥生：「反時代的哲学」としてのジル・ドゥルーズ — 精神分析の意義とニーチェ —

⑤ 13 時 20 分 - 14 時 00 分

多田雅彦：思考のイマージュと存在論 — ドゥルーズ『差異と反復』から

B会場 (C404 教室) 司会：山森裕毅②③、檜垣立哉④⑤

① _____

② 10時20分 - 11時00分

安藤勝哉：ドゥルーズ哲学における速度の概念——「ルクレティウスとシミュラクル」を中心として

③ 11時00分 - 11時40分

黒木萬代：サディストでもなくマゾヒストでもなく—ドゥルーズ『ザッヘル=マゾッホ紹介』における母親—

昼食 (11時40分 - 12時40分)

④ 12時40分 - 13時20分

西川 耕平：ドゥルーズにおける〈法解釈〉と人権

⑤ 13時20分 - 14時00分

Evgeny Blinov, «La déterritorialisation du signe : l'origine de langue et l'origine de la société dans l'Anti-Œdipe»

C会場 (C405 教室) 司会：藤岡俊博①②③、上野修④⑤

① 9時40分 - 10時20分

高井寛：E.レヴィナスにおける 真理と他者

② 10時20分 - 11時00分

松葉 類：レヴィナスと社会契約論——責任の律法とは何か

③ 11時00分 - 11時40分

Akiko Kagaya, «L'interprétation du visage de la femme dans l'éros et une reconsidération d'éthique de la substitution»

昼食 (11時40分 - 12時40分)

④ 12時40分 - 13時20分

立花達也：スピノザ『エチカ』における変化の問題

⑤ 13時20分 - 14時00分

大野岳史：デカルトにおける「観念」と「命名 (denominatio)」について

D会場 (C408 教室) 司会：加國尚志①②、杉山直樹③④⑤

① 9時40分 - 10時20分

川崎唯史：「私は私自身に与えられている」——メルロ=ポンティにおける誕生の問題

② 10時20分 - 11時00分

八幡恵一：不可逆の古い シャルル・ペギーと歴史の哲学

③ 11時00分 - 11時40分

佐藤愛：ウジェーヌ・ミンコフスキーの『生きられる時間』における浸透あるいは分有の原理

昼食 (11時40分 - 12時40分)

④ 12時40分 - 13時20分

中原 真祐子：ベルクソンにおける伝達の問題

⑤ 13時20分 - 14時00分

長坂真澄：存在と存在者の彼方—デリダのハイデガー『カントと形而上学の問題』読解より—

2. 講演会 (14時10分 - 15時10分)

会場：C402 教室

演題：'Self-Determination and Political Will' (講演および質疑応答は英語で行われます)

講演者：ピーター・ホルワード(Peter Hallward)

キングストン大学教授。現代フランス哲学 (サルトル、フーコー、ドゥルーズ、バディウ、ランシエール。現代の批判理論、政治哲学、ポストコロニアル理論) 専攻。

著書に *Out of this World: Deleuze and the Philosophy of Creation* (Verso, 2006) など (本講演は、科学研究費助成金 基盤 B(A262840040)『ドゥルーズ研究の国際化拠点の形成』との共催でおこなわれます)。

3. ワークショップ (15時20分 - 17時50分)

会場：C402 教室

テーマ：<日仏哲学会のこれまでとこれから>

司会：山田弘明

発表者：久米博「日仏哲学会のこれまで」

曾我千亜紀「日仏哲学会のこれから --- 開かれた空間のために」

津崎良典「未定」

4. 懇親会

*上記参照。

☆ お知らせ

1) 日仏哲学会では提案型ワークショップを募集することになりました。下記がその申し合わせです。

【日仏哲学会 提案型・共催型ワークショップについての申し合わせ】

・日仏哲学会のさらなる活性化のために、例年実施されている秋期大会の前日夜 (通例では金曜日夜) および翌日 (通例では日曜日昼) に、会員からの提案型・共催型ワークショップ枠を設ける。

・ワークショップについては、会員からの提案とし、理事会でこれを審議する。提案する会員が所属する研究会などとの共催の場合も同様である。

・複数の提案があったときにはいくつかに絞り込むこともある。

・会場については、秋期大会の会場と同じ場所もしくは近接した場所が望ましいが、大会開催校の事務負担にならないよう、提案者が責任をもって場所などを確保する。日仏哲学会もできるかぎりこれをサポートする。

- ・当日の運営にかんしては、提案者が責任をもってこれにあたる。
- ・ワークショップについての、会場費、事務費については事務局の判断でこれを費用として補填する。講師代や謝礼は原則的には日仏哲学会としては支出しない。ワークショップについては会報やホームページなどで宣伝告知する。
- ・提案は春期大会の理事会で審議するため、三月半ばを期限として事務局で受け付ける。

以上です。

2) 今回のホルワード氏の件もそうですが、日仏哲学会の大会時に来日されているフランス哲学関係の方などに積極的に講演をいただく機会を設けたいと思います。以下がその申し合わせです。

【日仏哲学会 大会内での講演に関する申し合わせ】

- ・日仏哲学会の活性化、またフランス語を中心とした外国語化を積極的に進めるために、講演にふさわしい講師（フランス語および英語での講演）が日本に滞在しているケースなどにおいて、講師の合意がとれた場合に、講演枠を適宜、大会に支障の無い範囲で設置する。
- ・上記提案は、理事の発案とし理事会で審議する。理事以外の会員は理事を通じ、これを発案することができる。
- ・講師への謝礼そのほかは基本的には学会側からは支払わない。

以上です。

3) 会員名簿作成に伴う個人情報の取り扱いに関して

今年度中に新たな会員名簿を作成しようと考えております。簡便さを考え、メールアドレスもできる限り掲載したいと考えております。しかし、個人情報保護の観点より、住所、電話番号、メールアドレス、所属など取扱注意のものが含まれてしまいます。これらの情報を明記されたくない方は、本年5月1日までに事務局の方にその旨御連絡いただけませんか。よろしくご申しあげます。

★会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実が学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000円）を納入していただきたく、お願い申し上げます。会費は春季大会会場で直接お支払いいただけます。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。（事務局よりお配りした振込用紙をお持ちの方はそちらをご利用ください。）会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。（なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。）

【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

別紙 マップ (大阪大学HPより)



電車 :

○阪急電車宝塚線

石橋駅 (特急・急行停車) 下車 東へ徒歩

・全学教育推進機構 約15分

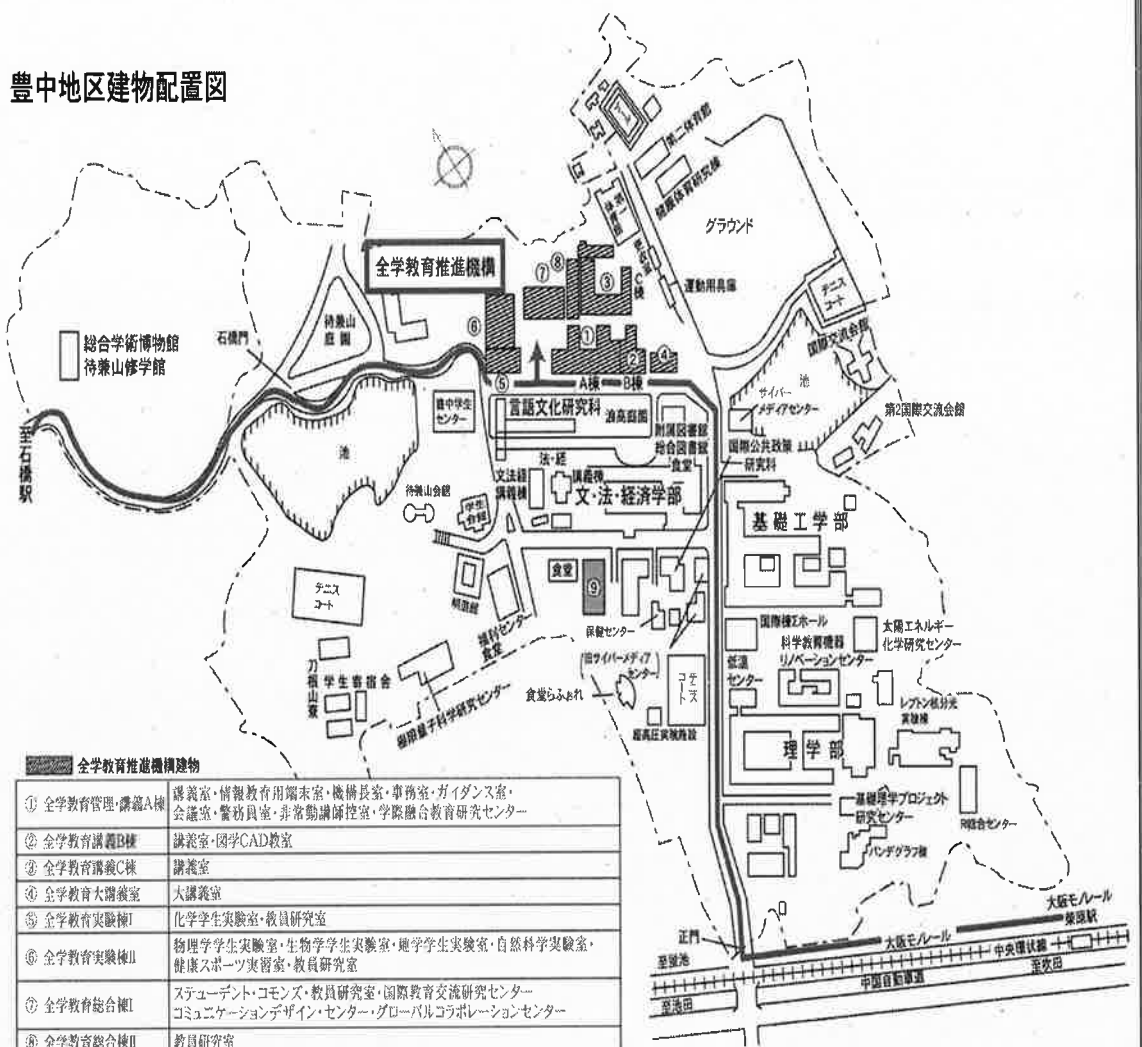
モノレール :

○大阪モノレール

柴原駅下車 徒歩約7~15分

裏に続きます→

豊中地区建物配置図



全学教育推進機構建物

① 全学教育管理・講義A棟	講義室、情報教育用端末室、機構長室、事務室、ガイダンス室、会議室、警務員室、非常勤講師控室、学際総合教育研究センター
② 全学教育講義B棟	講義室・国学CAD教室
③ 全学教育講義C棟	講義室
④ 全学教育大講義室	大講義室
⑤ 全学教育実験棟I	化学学生実験室・教員研究室
⑥ 全学教育実験棟II	物理学学生実験室・生物学学生実験室・地学学生実験室・自然科学実験室・健康スポーツ実習室・教員研究室
⑦ 全学教育総合棟I	スチューデント・コモンズ、教員研究室、国際教育交流研究センター、コミュニケーションデザイン・センター、グローバルコラボレーションセンター
⑧ 全学教育総合棟II	教員研究室

豊中総合学館(旧文系総合研究棟)

⑨ 豊中総合学館(旧文系総合研究棟)	講義室
--------------------	-----

会場：全学教育講義C棟（マップの③）